

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年 8月 8日

株式会社クレハ

2025年3月期1Q 実績

売上・利益推移

	2025年	2024年	1Q YoY
	3月期	3月期	
	1Q	1Q	
機能製品	143	164	-22
化学製品	84	92	-8
樹脂製品	130	117	13
建設関連	19	22	-2
その他関連	44	43	1
セグメント別売上収益	419	438	-18
機能製品	7	12	-5
化学製品	4	7	-3
樹脂製品	17	22	-5
建設関連	1	1	1
その他関連	5	6	-0
セグメント別営業利益	35	48	-13
全社調整	-3	2	-5
営業利益	32	49	-17
金融収益費用・税等	-3	-17	14
当期利益※	29	32	-4

※ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

(単位：億円)

2025年3月期 予想		
1H	2H	通期
340	360	700
155	135	290
210	190	400
65	80	145
80	85	165
850	850	1,700
34	23	57
6	4	10
22	30	52
4	4	8
4	9	13
70	70	140
-5	5	-
65	75	140
-15	-25	-40
50	50	100

2025年3月期 1Q 前年同期比

- ・2025年3月期1Qの前年同期比は、減収・減益となった。
- ・売上収益は、PVDFの売上数量・単価の下落、農薬、工業薬品、家庭用品の数量減少などにより、減収となった。
- ・営業利益は、持分法利益の改善があったものの、PVDFの減収および稼働率低下の影響、工業薬品、家庭用品の売上減少などから、あわせて減益となった。
- ・当期は、前年にあった有税処理の費用(一時費用)がなく、税金費用が少額となった。
- ・なお、第2四半期、通期の業績予想については、5月13日に開示した予想値に変更なし。

2025年3月期 1Q 決算の概要

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2025年 3月期 1Q	2024年 3月期 1Q	差異	増減 率
売上収益	419	438	-18	-4.2%
セグメント別営業利益	35	48	-13	-26.6%
調整	-1	-1	-0	
その他の収益	2	4	-2	
その他の費用	4	1	-3	
営業利益	32	49	-17	-35.2%
金融収益	6	7	-1	
金融費用	1	0	-0	
税引前利益	38	56	-18	-32.9%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	29	32	-4	-11.3%
1株当たり四半期利益(円)	52.74	55.75		
為替レート (円/\$)	155.9	137.5		
(円/€)	167.8	149.6		
(円/元)	21.5	19.6		

< 前年同期比での主な差異要因 >

〔売上収益〕

業務用包材が増収となるも、PVDF、農薬、工業薬品、家庭用品が減収となり、あわせて減収。

〔セグメント別営業利益〕

持分法利益が増加するも、PVDF、家庭用品が減益となり、あわせて減益。

〔営業利益〕

セグメント別営業利益の減少、その他の費用の増加（固定資産撤去費用）等により、減益。

〔税引前利益〕

営業利益の減少により、減益。

〔親会社四半期利益〕

法人税等の費用が減少するも、税引前利益の減少により、減益。

KUREHA

【機能製品・化学製品】 セグメント別連結業績

株式会社クレハ

機能製品セグメント

	2025年	2024年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
機能樹脂	93	119	-26	-22%
炭素製品	20	19	0	1%
その他	30	26	4	16%
売上収益	143	164	-22	-13%
営業利益	7	12	-5	-42%

<前年同期比> 減収・減益

機能樹脂

PPS事業の持分法利益が改善するも、EV市場の停滞および顧客の在庫調整によりPVDFが減収。また、国内自動車市場の低迷によりPPSが減収となり、あわせて減収・減益。

炭素製品

中国での炭素繊維が減少したものの、球状活性炭が増加し、あわせて売上は前年同期並み、減益。

化学製品セグメント

(単位：億円)

	2025年	2024年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
農薬	26	33	-7	-22%
医薬品	6	9	-3	-35%
工業薬品	23	29	-6	-20%
その他	29	21	8	37%
売上収益	84	92	-8	-9%
営業利益	4	7	-3	-45%

<前年同期比> 減収・減益

農薬・医薬

農薬は顧客の在庫調整、医薬品は薬価改定等があり減収、利益は前年同期並み。

工業薬品

苛性ソーダの市況悪化、他社PPS向けパラジクロロベンゼンの数量減などにより減収、営業利益から営業損失に。

KUREHA

【樹脂製品・建設関連・その他関連】 セグメント別 連結業績

株式会社クレハ

樹脂製品セグメント

	2025年	2024年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
家庭用品	55	61	-6	-10%
釣糸	15	13	2	11%
業務用包材	50	32	18	55%
その他	10	10	-0	-4%
売上収益	130	117	13	11%
営業利益	17	22	-5	-22%

<前年同期比> 増収・減益

家庭用品・釣糸

家庭用ラップ「NEWクレラップ」の売上収益が減少し、減収・減益。

業務用包材

熱収縮多層フィルム終売に伴う在庫処分売上収益等があり、増収・増益。

建設関連セグメント

(単位：億円)

	2025年	2024年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
売上収益	19	22	-2	-11%
営業利益	1	1	1	67%

その他関連セグメント

	2025年	2024年	増減	
	3月期	3月期	額	率
	1Q	1Q		
環境事業	28	27	1	5%
運送事業	4	4	-0	-3%
病院事業	11	10	1	9%
その他	1	2	-1	-51%
売上収益	44	43	1	2%
営業利益	5	6	-0	-3%

KUREHA

財政状態計算書

株式会社クレハ

資産

	2024年 6月末	2024年 3月末	増減
現金・現金同等物	237	231	5
営業・その他債権	367	406	-39
棚卸資産	503	512	-10
その他流動資産	52	49	3
流動資産計	1,158	1,199	-41
有形固定資産	1,408	1,405	2
無形固定資産	53	50	3
投資等	691	652	40 ※1
非流動資産計	2,152	2,107	45
資産合計	3,310	3,306	4

※1 … 投資有価証券時価評価+13
持分法投資の為替変動+11 他

負債及び資本

(単位：億円)

	2024年 6月末	2024年 3月末	増減
営業・その他債務	212	205	7
有利子負債	541	549	-8
引当金	93	113	-20
その他負債	222	208	13
負債計	1,068	1,075	-7
資本金	182	182	-
資本剰余金	147	147	-
自己株式	-45	-96	52 ※2
利益剰余金	1,695	1,773	-78 ※3
その他の資本	246	208	38 ※4
非支配株主持分	18	18	0
資本計	2,243	2,231	11
負債・資本合計	3,310	3,306	4

※2 … 自己株式消却+87、自己株式取得△36 他
 ※3 … 当期利益+29、配当△24、自己株式消却△87 他
 ※4 … 為替調整+29 他

KUREHA

キャッシュフロー実績

株式会社クレハ

(単位:億円)

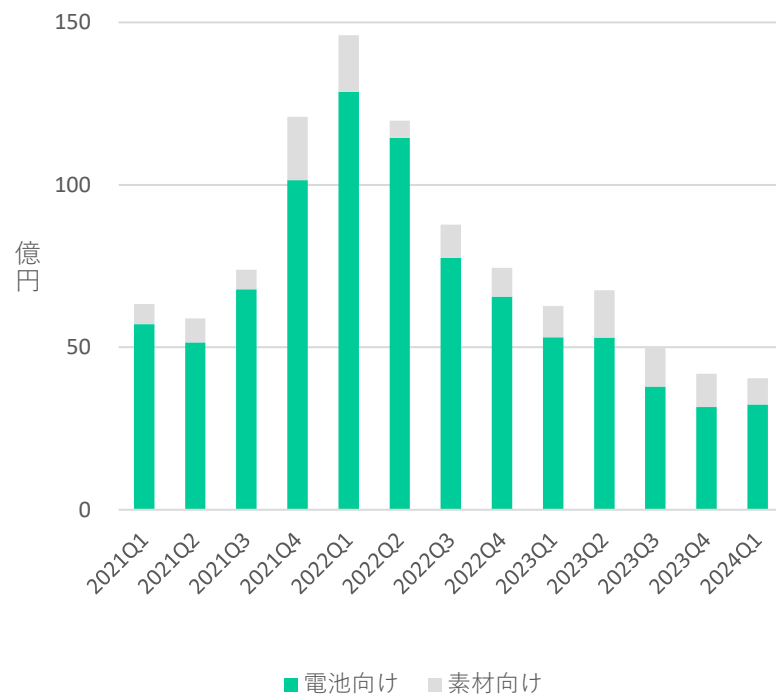
	2025年 3月期 1Q	2024年 3月期 1Q	増減
税引前四半期利益	38	56	△18
減価償却費および償却費	32	28	4
その他	42	△115	156 ※1
営業キャッシュフロー	111	△31	142
投資キャッシュフロー	△41	△40	△2
フリーキャッシュフロー	70	△70	140
財務キャッシュフロー	△74	71	△145 ※2
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	10	10	0
現金及び現金同等物の増減額	5	11	△5
現金及び現金同等物の期首残高	231	322	△91
現金及び現金同等物の期末残高	237	333	△96

※1
 法人所得税支払額 +27
 営業・その他債権 +54
 棚卸資産 +23
 営業・その他債務 +47

※2
 短期借入金及びCP -44
 長期借入れによる収入 -100

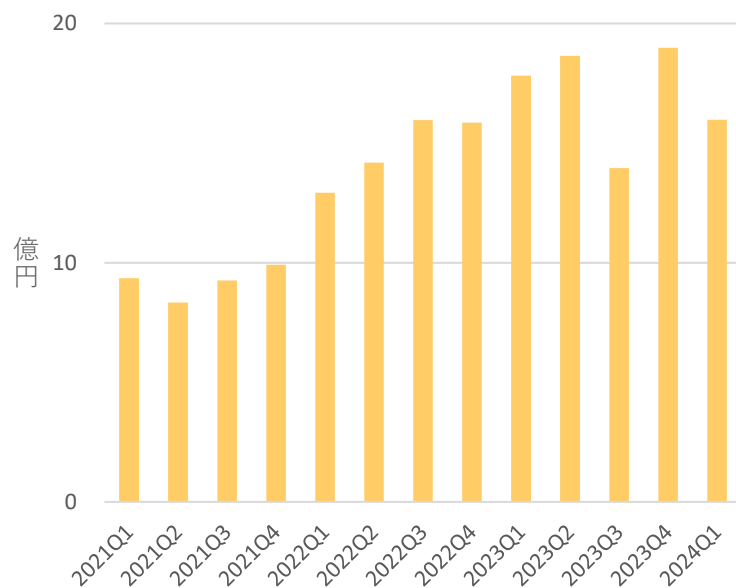
KUREHA

<PVDF売上収益の推移>

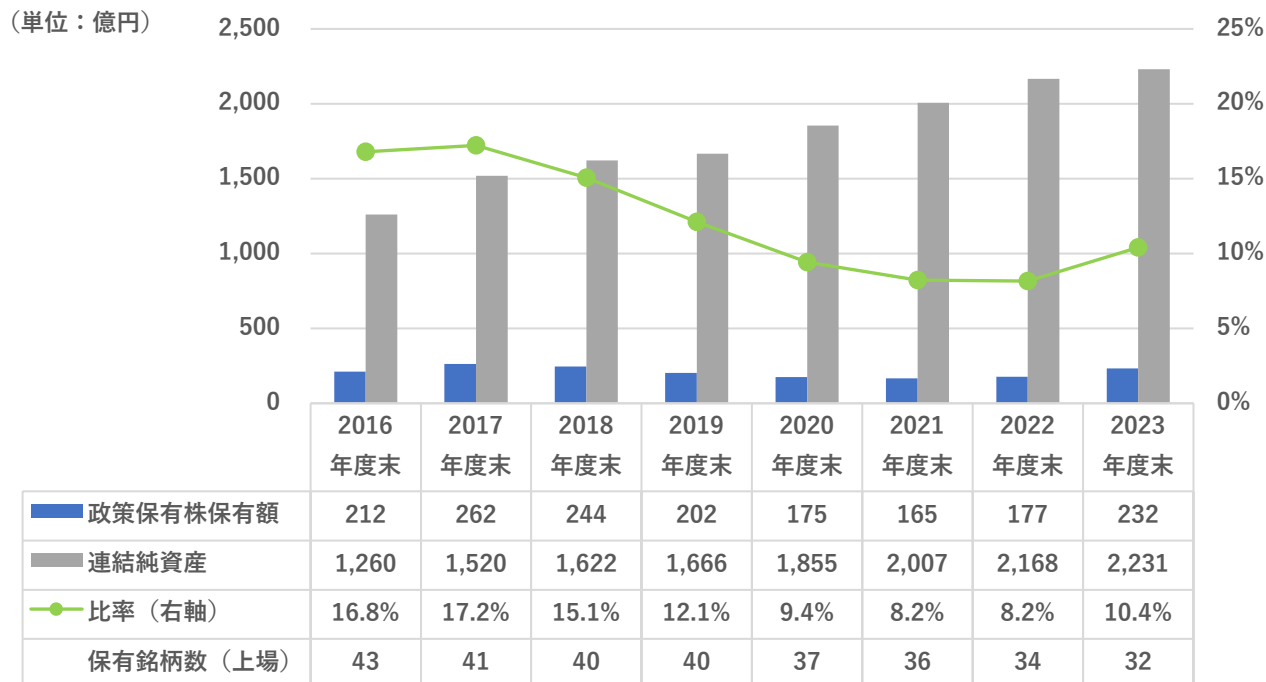


- EV向けLiB需要は、中長期では持続的に拡大する見通しに変更なし。
- 2022年度後半からEV市場の成長率が鈍化、EV・LiB関連企業の製品・原材料在庫が過剰となった。その影響により2022年度下期から在庫調整が続いている。
- 2024年度1Qは、前四半期（2023年度4Q）とほぼ同水準の売上収益となった。
- 短期的には電池用途での新規顧客の獲得、素材向け用途での拡販等、長期的には三元系LiB市場拡大と新規LFP向けグレードの開発により販売数量の拡大を図る。

<PGA売上収益の推移>



- ガス価格の低迷により、既存顧客（高温地区）の掘削活動が停滞。ガス価格は2024年度下期に向けて回復していくものと推測。
- 高温地区の市場回復に加え、現在主に坑井の先端部分しか受注できていない中高温地区での、フルボア（坑井全体）受注を引き続き推進する。
- より低い温度での分解性を改良した新グレードの投入や、温度センサー、イメージセンサーなどによる顧客サービスで、坑井内の環境に適した製品を提案することで、フルボア受注を押し進める。
- 「ショート化プラグ」の投入が遅れているが、2024年度下期から投入し、製品の利便性向上を図る。



政策保有株式については、取締役会が保有目的、保有に伴う便益やリスクと資本コスト等を総合的に検討し、今後の保有の適否を毎年検証しています。

保有額（総額）を連結純資産比10%未満とすることを基準として定め、保有意義の薄れた株式や保有額の過大な株式については、取引先との対話、市場への影響、有効な資金活用の有無等を総合的に考慮した上で、段階的に縮減します。

当社では、いわき事業所において PVDF 生産能力増強の設備投資を実施しています。PVDFの生産能力の拡大は、EVの生産拡大に寄与し、世界のCO2排出抑制に貢献します。

当社はこの設備投資の資金調達のため、グリーンボンドを活用することを決定しました。サステナブルファイナンスを積極的に活用することで資金調達の手段を多様化し、投資家の皆様と共に、カーボンニュートラルの実現に向け、事業を拡大していきます。

「グリーンボンド原則 (Green Bond Principles) 2021」及び「グリーンボンドガイドライン 2022 年版」への適合性に関し、第三者機関である株式会社日本格付研究所 (JCR) より、「グリーンボンド・フレームワーク評価」において、最上位である「Green1 (F)」の評価を取得しております。

また、資金用途について、「グリーン・イネーブリング・プロジェクト・ガイダンス (Green Enabling Projects Guidance document)」も参照した環境改善効果の評価を受けています。



グリーンボンド調達資金の投資先となる
PVDF (ポリフッ化ビニリデン)

グリーンボンド発行に関するお知らせ
https://www.kureha.co.jp/newsrelease/uploads/Notice_Regarding_Green_Bond_Issuance_jp.pdf

クレハグリーンボンド フレームワーク
[GBframework.pdf \(kureha.co.jp\)](https://www.kureha.co.jp/gbframework.pdf)

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。